

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2018」(中国高校生招へい)

事業概要・依頼内容

外務省が推進する対日理解促進交流プログラム「JENESYS2018」の一環として実施する中国高校生短期招へい事業の事業概要は以下のとおりです。

1. 趣旨：

中国の対外発信力を有し、将来を担う高校生を訪日招へいし、政治、経済、社会、文化、歴史等に関する対日理解の促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘し、被招へい者による対外発信を強化する。また、高校訪問などの同世代との交流の場や各地視察及び日本文化体験等を通じ、日中両国青少年の友好促進を図る。

2. 主管団体：公益財団法人日中友好会館

招へい・実施は主管団体又は主管団体が委託する実施団体が行います。

3. 被招へい者：中国側派遣機関より派遣された各地域の中国高校生

4. 来日時期・招へい人数：

①中国高校生訪日団第1陣 9月4日(火)－9月12日(水) 200名

うち学校交流受け入れ日程 9月7日(金)もしくは9月10日(月)のいずれか1日

②中国高校生訪日団第2陣 11月6日(火)－11月14日(水) 200名

うち学校交流受け入れ日程 11月9日(金)もしくは11月12日(月)のいずれか1日

③中国高校生訪日団第3陣 12月4日(火)－12月12日(水) 200名

うち学校交流受け入れ日程 12月7日(金)もしくは12月10日(月)のいずれか1日

④香港・澳門高校生訪日団 12月9日(日)－12月17日(月)

75名(香港50名、澳門25名)

うち学校交流受け入れ日程 12月11日(火)もしくは12月14日(金)のいずれか1日

5. 依頼内容：

中国高校生の学校交流(高等学校訪問)の受け入れ。

(1) 訪問時間：原則として終日交流(10:30～17:00 想定)を希望しますが、午後  
のみの半日交流でも可。

※具体的な訪問時間は受入決定後に実施団体と相談して決定。

(2) 受け入れ人数：1校あたり30名(バス1台)

※30名受け入れが難しい場合、1校あたり15名の受け入れでも可。

但し、30名受け入れ可の学校が優先されます。

(3) 内 容：日本高校生との交流会、授業参加、部活動参加

※実際の受け入れ人数は引率を含め若干名増加する予定です。

※訪日団には、実施団体事務局（通訳含む）が同行します。

※訪問する中国高校生は英語が堪能な生徒を選抜しています。

※訪問する中国高校生は男子生徒と女子生徒どちらも含まれます。

※移動、宿泊及び、終日交流の場合の訪日団の昼食手配については、(公財)日中友好会館または同公益財団が委託する実施団体が行います。

6. 経費：

本交流に関わる経費は、実施団体が負担いたします（但し、支払い制限有り）。詳細につきましては、実施の段階でご案内致します。

7. 調書提出方法及び事業実施までのスケジュール

別紙3参照

8. 連絡先

公益財団法人日中友好会館 総合交流部 高野倉 愛、行平 紀子、堀口 努

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-5-3 TEL：03-5800-3749 FAX：03-5800-5472

E-MAIL：takanokura@jcfc.or.jp（高野倉）

※別紙（1～6）のデータが必要な場合は、上記8の連絡先担当者までご連絡ください。

以上